

平成3年度 (1991年)

この年、4～5月に千葉・幕張において行われた第41回世界選手権には、現役学生より田中卓也(埼玉工大)、森本洋治(日大)、河合雅世(青学大)、大野知子(早大)、道広友子・青池優美(共に富士短大)の6名が出場した。この6名は全員、この年に入学した選手であり、これだけ多くの新入生が世界代表に選ばれるということは史上初であった。なお、この本大会は南北朝鮮統一チーム・コリアの結成と活躍が話題となった。関東学連は以前より親交の深いチェコスロバキア世界代表チームの大会前後のホスピタリティーを担当し、対抗戦を行うなどした(そのためか、史上最低の成績に終わった日本勢を尻目に、チェコスロバキア勢は大活躍であった)。

この年より、東日本学生・西日本学生・東西優勝校対抗戦の3大会が中止され、「団体はインカレ、個人戦は全日学」という日学連大会の絞り込みが行われた。これに関連し、関東学連でも春秋王座決定戦の中止や各大会出場資格の一部改正(昭和52年以来、15年ぶりに3年生以上に新人戦出場を認め、会長杯の出場資格も緩和する、など)が行われた。また、前年の女子3部以下に続き、この年より男子4部以下においてもリーグ戦の試合方式が変更(6単1複→4単1複)となり、さらに、リーグ戦参加校の減少に伴い、この年の秋季より女子のリーグ戦が5部までの編成となった(従来の6部校を5部へ編入)。

競技面では、新制度1年目のインカレ(インカレ史上初のカラー化大会として、オレンジボール・ブルーテーブルを使用。平塚にて関東主管で行われた)において男子のベスト8を関東勢が独占する、という快挙を成し遂げた。その中でも、リーグ戦で4部から3部に昇部したばかりの埼玉工大が、周・田中を軸にインカレでベスト8入りし、注目を集めた。

男子は前年度からの2年間、春秋のリーグ戦・インカレを合わせて6大会で5校が優勝、連続優勝なし、という混戦時代。この年は、春(リーグ戦)大正大、夏(インカレ)中大、秋(リーグ戦)明大、の3校が優勝を飾った。特にこの年の春季リーグ戦では3勝2敗で5チームが並び、5チーム間の得失計算の結果、順位が決定する、という前代未聞の混戦状況であった。秋季には一転して明大が圧勝したが、この中で1年生の中田の活躍が目立っていた。同等程度の実力の同級生が揃う中で1人だけ世界選手権代表に選ばれなかったうづぶんを晴らすかのように関東学生を制し、リーグ戦は年間で単8勝1敗、複(徳村・中田組)10戦全勝、という活躍ぶりであった。

混戦の男子を横目に、女子においては木村監督の就任30周年にあたるこの年、青学大が春秋リーグ戦(3連覇)とインカレ(2連覇)の全団体戦を制覇し、黄金時代を築いていた。が、しかし、その一方で7年連続で確保していた関東学生・単のタイトルを失うなど、来るべき女子の混戦時代の予兆も見られる。その、関東学生・単のタイトルを青学大から奪った大野(早大)は、全日本・混合複でも渡辺武弘(協和発酵)とベアーを組み、2連覇を達成している。また、道広(富士短大)は、新人戦・関東学生・全日学の3大会でダブルタイトルを全て獲得する、という活躍ぶりを見せた。

関東学生のシングルス決勝が男女とも1年生同士で争われるなど、全体として1年生の活躍が目立つ反面、上級生のふがいなさも指摘され、「大学で成長する選手が少ない」と問題になった時期でもあった。

その他、関東学連は日学連の第7回日韓学生対抗戦の主管を担当するなどの活動も行なった。

関東学生新人選手権大会…世界選手権代表が6人出場。史上最高の新人戦!。森本が2冠王

◇男子シングルス

準決勝 森本洋治(日大)2(-17,21,16)1飯村敏文(明大)
西川幸伸(専大)2(8,-16,9)1中田幸信(明大)

決勝

森本洋治(日大)2(14,12)0西川幸伸(専大)

◇男子ダブルス

準決勝

森本洋治(日大)2(16,20)0田中卓也(埼玉工大)
高橋智英(明大)0吉岡直樹(埼玉工大)
大津圭貴(青学大)2(18,-17,19)1中田幸信(明大)
福原圭伸(青学大)2(18,-17,19)1中田幸信(明大)
山口寛之(明大)

決勝

森本洋治(日大)2(11,14)0大津圭貴(青学大)
高橋智英(明大)0福原圭伸(青学大)

◇女子シングルス

準決勝 河合雅世(青学大)2(15,15)0野末知穂(日大)
大野知子(早大)2(14,19)0横田亜季(青学大)

決勝

河合雅世(青学大)2(-19,19,22)1大野知子(早大)

◇女子ダブルス

準決勝

道広友子(富士短大)2(16,20)0川崎小巻(専大)
渡辺(明大)0高野博美(早大)
青池優美(富士短大)2(16,21)0河合雅世(青学大)
青山佐織(富士短大)2(16,21)0横田亜季(青学大)

決勝

道広友子(富士短大)2(11,9)0青池優美(富士短大)
渡辺(明大)0青山佐織(富士短大)

関東学生選手権大会…男女とも単決勝は1年生対決。男子は明大勢が2冠を獲得。青学大の女子単連覇ストップ。

◇男子シングルス

準々決勝

中田幸信(明大)3(21,11,-18,10)1内宮 誠(専大)
大川誠司(中大)3(-13,-18,17,16,9)2三島崇明(日大)
森本洋治(日大)3(18,-14,12,-20,10)2徳村智彦(明大)
斉藤英晴(大正大)3(17,-11,13,-18,19)2藤本武司(専大)

準決勝

中田幸信(明大)3(9,13,-15,10)1大川誠司(中大)
森本洋治(日大)3(16,-17,19,9)1斉藤英晴(大正大)

決勝

中田幸信(明大)3(17,-20,-21,14,13)2森本洋治(日大)
(中田は初優勝)

◇男子ダブルス

準決勝

佐藤克典(明大)2(19,14)0大川誠司(中大)
小畑幸生(明大)0入山浩治(中大)
森本洋治(日大)2(20,17)0橋本正浩(専大)
高橋智英(明大)0田原直昌(専大)

決勝

佐藤克典(明大)2(16,-14,19)1森本洋治(日大)
小畑幸生(明大)0高橋智英(明大)
(佐藤(克)・小畑組は初優勝)

◇女子シングルス

準々決勝

大野 知子(早大)3(-17,14,17,17)1佐藤恵理子(日大)
村松由希子(専大)3(-13,17,-13,14,12)2小泉 晶子(大正大)
道広 友子(富士短大)3(16,15,17)0小貫菜穂子(専大)
高尾 和子(中大)3(22,15,8)0遠藤 光恵(青学大)

準決勝

大野 知子(早大)3(18,8,13)0村松由希子(専大)
道広 友子(富士短大)3(14,18,16)0高尾 和子(中大)

決勝

大野 知子(早大)3(20,10,9)0道広 友子(富士短大)
(大野は初優勝)

◇女子ダブルス

準決勝

飯井 智子(富士短大)2(15,13)0遠藤 光恵(青学大)
道広 友子(富士短大)2(15,13)0河合 雅世(青学大)
岡村 篤子(青学大)2(15,17)0中島 秋実(富士短大)
丸木貴美子(青学大)2(15,17)0渡辺(明大)

決勝

飯井 智子(富士短大)2(18,-14,18)1岡村 篤子(青学大)
道広 友子(富士短大)2(18,-14,18)1丸木貴美子(青学大)
(飯井・道広組は初優勝)

春季リーグ戦…男子・史上最高の大混戦。何と3勝2敗が5校! 女子・青学大が余裕の全勝優勝

男子1部

大正大 4 - 2 明治大
1 三浦 真樹 1(-16,11,-12)2 徳村智彦○
2 渡辺 理貴 2(-18,18,18)1 飯村敏文
3 皆川 顕一 2(14,11)0 山崎一也
4 陳ヶ尾憲二 0(-16,-14)2 徳村智彦○
船山 裕二 0(-16,-14)2 中田幸信
5 陳ヶ尾憲二 2(18,18)0 中田幸信
6 石井 健吾 2(11,10)0 佐藤克典
7 斉藤 英晴 0 小畑幸生
(大正大は13季ぶり2回目の優勝)

女子1部

青山学院大 4 - 2 富士短期大
1 河合 雅世 0(-17,-19)2 道広 友子○
2 遠藤 光恵 2(19,14)0 財津 恵
3 河合 雅世 0(-18,-20)2 飯井 智子○
横田 亜季 0(-18,-20)2 道広 友子
4 岡村 篤子 2(16,23)0 青池 優美
5 岡村 篤子 2(-17,20,15)1 財津 恵
丸木貴美子 2(-17,20,15)1 和田真由美
6 横田 亜季 2(-13,18,16)1 和田真由美
7 丸木貴美子 0 飯井 智子
(青山学院大は2季連続15回目の優勝)

入替戦

男子・日本大(1部)4-0日本体育大(2部)
女子・大正大(1部)4-1日本大(2部)

秋季リーグ戦…男子・明大が圧勝。失点、わずか3 女子・青学大、3季連続全勝優勝

男子1部

明治大 4 - 1 専修大
1 中田幸信 2(-20,17,15)1 田原直昌
2 小畑幸生 2(20,17)0 野平剛司
3 飯村敏文 1(13,-19,-17)2 内宮 誠○
4 徳村智彦 2(21,16)0 橋本正浩
中田幸信 2(21,16)0 田原直昌
5 永野兼之 2(14,-14,10)1 江崎敏満
6 徳村智彦 0 橋本正浩
7 山崎一也 0 川嶋崇弘
(明治大は4季ぶり15回目の優勝)

女子1部

青山学院大 4 - 3 専修大
1 遠藤 光恵 0(-20,-18)2 小貫菜穂子○
2 河合 雅世 2(20,13)0 竹内めぐみ
3 岡村 篤子 2(19,15)0 村松由希子
丸木貴美子 2(19,15)0 小貫菜穂子
4 岡村 篤子 0(-16,-20)2 村松由希子○
5 河合 雅世 1(-19,10,-18)2 志村 栄子○
横田 亜季 1(-19,10,-18)2 川崎 小巻
6 横田 亜季 2(17,8)0 高野 博美
7 遠藤こず枝 2(-16,20,15)1 川崎 小巻
(青山学院大は3季連続16回目の優勝)

入替戦

男子・日本大(1部)4-1法政大(2部)
女子・日本体育大(1部)4-2日本大(2部)

平成3年度・春季

男子1部	中央大	早稲田大	大正大	専修大	明治大	日本大	勝敗	得失	順位
中央大	○4-1	●1-4	○4-3	●2-4	○4-1	○4-1	3-2	15-13	5
早稲田大	●1-4	○4-2	○4-1	●2-4	○4-1	○4-1	3-2	15-12	3
大正大	○4-1	●2-4	●2-4	○4-2	○4-2	○4-2	3-2	16-13	1
専修大	●3-4	●1-4	○4-2	○4-3	○4-1	○4-1	3-2	16-14	4
明治大	○4-2	○4-2	●2-4	●3-4	○4-1	○4-1	3-2	17-13	2
日本大	●1-4	●1-4	●2-4	●1-4	●1-4	○4-1	0-5	6-20	6



殊勲賞 皆川 顕一 (大正大)
 敢闘賞 中田 幸信 (明大)
 優秀選手賞 小笠原剛士 (早大)
 矢島 淑雄 (中大)
 内宮 誠 (専大)
 最優秀新人賞 皆川 顕一 (大正大)
 中田 幸信 (明大)

平成3年度・春季

女子1部	青山学院大	富士短期大	中央大	専修大	大正大	日本体育大	勝敗	得失	順位
青山学院大	○4-2	○4-2	○4-2	○4-0	○4-0	○4-0	5-0	20-6	1
富士短期大	●2-4	○4-3	○4-0	○4-3	○4-3	○4-3	4-1	18-13	2
中央大	●2-4	●3-4	●1-4	○4-1	○4-0	○4-0	2-3	14-13	4
専修大	●2-4	●0-4	○4-1	●3-4	○4-0	○4-0	2-3	13-13	3
大正大	●0-4	●3-4	●1-4	○4-3	●3-4	○4-0	1-4	11-19	6
日本体育大	●0-4	●3-4	●0-4	●0-4	○4-3	○4-0	1-4	7-19	5



殊勲賞 岡村 篤子 (青学大)
 敢闘賞 道広 友子 (富士短大)
 優秀選手賞 道広 友子 (富士短大)
 大場 範子 (中大)
 小貫菜穂子 (専大)
 最優秀新人賞 河合 雅世 (青学大)
 道広 友子 (富士短大)

平成3年度 春季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6
1部	大正大	明治大	早稲田大	専修大	中央大	日本大
2部	日本体育大	青山学院大	筑波大	駒沢大	法政大	東洋大
3部	A 東海大	東京大	順天堂大	東京理科大	東京都立大	東京経済大
	B 慶応義塾大	千葉商科大	横浜国立大	国学院大	東京農業大	東京学芸大
4部	A 埼玉工業大	東京農工大	東京電機大	埼玉大	独協大	明治学院大
	B 千葉大	帝京大	明星大	電気通信大	立正大	(大東文化大)
	C 群馬大	成蹊大	東京工業大	中央工学校	創価大	宇都宮大
	D 学習院大	立教大	都留文科大	茨城大	一橋大	神奈川大
5部	A 武蔵大	東京薬科大	工学院大	高崎経済大	産能大	上智大
	B 千葉経済大	国土館大	山梨学院大	日本工業大	山梨大	日工学院専
	C 関東学院大	淑徳大	芝浦工業大	横浜市立大	千葉工業大	桜美林大
	D 武蔵工業大	文教大	二松学舎大	玉川大	東京医歯大	
6部	A 横浜商科大	東京工芸大	東京水産大	(東京外語大)		
	B 星薬科大	流通経済大	東京歯科大			
	C 日本獣畜大	I C U	国際武道大	湘南工科大		
	D 東京国際大	防衛大学校	東京商船大			
	E 明治薬科大	成城大	和光大			

女子	1	2	3	4	5	6
1部	青山学院大	富士短期大	専修大	中央大	日本体育大	大正大
2部	日本大	淑徳短期大	日本女体大	和洋女子大	東京女体大	東洋大
3部	A 東京学芸大	筑波大	大妻女子大	宇都宮大	埼玉大	(東京大)
	B 早稲田大	都留文科大	茨城大	群馬大	千葉大	慶応義塾大
4部	A 東成徳短大	立正大	東京理科大	群馬県女大	産能大	東京外語大
	B 学習院大	創価大	立教大	明治薬科大	山梨大	
	C 文教大	東京都立大	(東京家政大)	(国学院大)	(帝京大)	(玉川大)
	D 上智大	明治学院大	武蔵大	淑徳大	法政大	東京歯科大
5部	A 共立薬科大	日本獣畜大	(清泉女子大)			
	B 星薬科大	東京農工大	成城大	(東京薬科大)	(独協大)	
	C 桜美林大	I C U	創価女短大	東京医歯大	(二松学舎大)	
	D 東京農業大	横浜国立大	聖心女子大	(産能短大)		
6部	A 千葉経済大	津田塾大	(成蹊大)			

() はリーグ戦登録後、棄権したチーム

平成3年度・秋季

男子1部	大正大	明治大	早稲田大	専修大	中央大	日本大	勝敗	得失	順位
大正大		●1-4	●1-4	●1-4	●2-4	○4-2	1-4	9-18	5
明治大	○4-1		○4-1	○4-1	○4-0	○4-0	5-0	20-3	1
早稲田大	○4-1	●1-4		●0-4	○4-1	○4-2	3-2	13-12	3
専修大	○4-1	●1-4	○4-0		○4-1	○4-1	4-1	17-7	2
中央大	○4-2	●0-4	●1-4	●1-4		○4-2	2-3	10-16	4
日本大	●2-4	●0-4	●2-4	●1-4	●2-4		0-5	7-20	6



殊勲賞 中田 幸信 (明大)
 敢闘賞 内宮 誠 (専大)
 優秀選手賞 飯村 敏文 (明大)
 永野 兼之 (明大)
 田原 直昌 (専大)

平成3年度・秋季

女子1部	青山学院大	富士短期大	専修大	中央大	日本体育大	大正大	勝敗	得失	順位
青山学院大		○4-2	○4-3	○4-1	○4-0	○4-0	5-0	20-6	1
富士短期大	●2-4		●0-4	○4-2	○4-2	○4-3	3-2	14-15	3
専修大	●3-4	○4-0		○4-1	○4-1	○4-3	4-1	19-9	2
中央大	●1-4	●2-4	●1-4		●3-4	○4-1	1-4	11-17	4
日本体育大	●0-4	●2-4	●1-4	○4-3		●1-4	1-4	8-19	6
大正大	●0-4	●3-4	●3-4	●1-4	○4-1		1-4	11-17	5



殊勲賞 遠藤 光恵 (青学大)
 敢闘賞 小貫菜穂子 (専大)
 優秀選手賞 河合 雅世 (青学大)
 小貫菜穂子 (専大)
 大場 範子 (中大)

平成3年度 秋季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6
1部	明治大	専修大	早稲田大	中央大	大正大	日本大
2部	法政大	駒沢大	日本体育大	青山学院大	筑波大	東洋大
3部	A 埼玉工業大	千葉商科大	順天堂大	国学院大	東海大	東京都立大
	B 慶應義塾大	東京大	東京農業大	東京理科大	横浜国立大	群馬大
4部	A 東京学芸大	関東学院大	立教大	東京工業大	独協大	電気通信大
	B 都留文科大	武蔵工業大	千葉大	東京農工大	立正大	(中央工学校)
	C 東京電機大	創価大	千葉経済大	帝京大	茨城大	東京経済大
	D 宇都宮大	学習院大	成蹊大	埼玉大	一橋大	明星大
5部	A 武蔵大	日本工業大	芝浦工業大	横浜商科大	産能大	文教大
	B 大東文化大	横浜市立大	東京薬科大	日本獣畜大	山梨大	二松学舎大
	C 神奈川大	東京国際大	国士館大	千葉工業大	玉川大	工学院大
	D 明治薬科大	明治学院大	淑徳大	山梨学院大	高崎経済大	東京医歯大
6部	A 西東京科大	東京商船大	成城大			
	B 東京工芸大	(和光大)				
	C 上智大	流通経済大	東京水産大			
	D 日工学院専	東京歯科大	I C U	(東京外語大)		
	E 桜美林大	防衛大学校				
編成外	星薬科大	国際武道大	湘南工科大			

女子	1	2	3	4	5	6
1部	青山学院大	専修大	富士短期大	中央大	大正大	日本体育大
2部	日本大	淑徳短期大	和洋女子大	早稲田大	東京女体大	日本女体大
3部	A 東京学芸大	都留文科大	埼玉大	文教大	群馬大	(大妻女大)
	B 筑波大	東洋大	東成徳短大	宇都宮大	茨城大	千葉大
4部	A 東京家政大	明治学院大	産能大	明治薬科大	東京農業大	
	B 学習院大	立正大	武蔵大	山梨大	(国学院大)	(星薬科大)
	C 慶應義塾大	創価大	東京理科大	淑徳大	桜美林大	
	D 東京都立大	群馬県女大	立教大	法政大	(上智大)	
5部	A 千葉経済大	横浜国立大	東京薬科大	創価女短大	共立薬科大	
	B 東京外語大	日本獣畜大	東京医歯大	(独協大)		
	C 津田塾大	東京農工大	(産能短大)			
	D I C U	(成城大)				
編成外	東京大	帝京大	玉川大	東京歯科大	聖心女子大	清泉女子大
	成蹊大	二松学舎大	流通経済大			

「編成外」はリーグ戦登録を行っていないチーム (学連登録のみ)

() はリーグ戦登録後、棄権したチーム

平成3年度(1991年)

第61回全日本大学対抗卓球大会(平塚総合体育館) …男子・中大、25年ぶりの優勝。ベスト8は関東勢が独占。女子・青学大は2連覇達成。

◇男子団体

準々決勝

中央大 3-1 法政大
早稲田大 3-1 日本大
専修大 3-2 埼玉工業大
明治大 3-1 青山学院大

準決勝

中央大 3-2 早稲田大
板垣孝司 1(-19,12,-18)2 平 亮太○
○矢島淑雄 2(19,-21,11)1 小笠原剛士
○大川誠司 2(17,16)0 平 亮太
入山浩治 1(-19,16,-19)2 梶谷 博和○
大川誠司 1(-19,16,-19)2 梶谷 博和○
○入山浩治 2(14,-19,15)1 牛谷 有一
専修大 3-1 明治大
○田原直昌 2(-18,19,19)1 中田幸信
○内宮 誠 2(10,15)0 永野兼之
橋本正浩 1(19,-13,-15)2 徳村智彦○
川嶋崇弘 2(14,16)0 飯村敏文
○橋本正浩 2(14,16)0 飯村敏文
川嶋崇弘 徳村智彦

決勝

中央大 3-1 専修大
○大川誠司 2(-14,20,15)1 田原直昌
○矢島淑雄 2(16,17)0 内宮 誠
大川誠司 0(-19,-14)2 橋本正浩○
入山浩治 2(-14,18,14)1 田原直昌
○板垣孝司 2(-14,18,14)1 橋本正浩
入山浩治 橋本正浩
(中央大は25年ぶり5回目の優勝)
敢闘賞 矢島淑雄(中央大)

◇女子団体

準々決勝

青山学院大 3-2 東筑紫短期大
大正大 3-0 京都産業大
中央大 3-1 日本体育大
専修大 3-0 富士短期大

準決勝

青山学院大 3-0 大正大
○岡村 篤子 2(17,16)0 小泉 晶子
○河合 雅世 2(17,21)0 宇佐美由香
○岡村 篤子 2(-20,15,13)1 三木 正子
丸木貴美子 小泉 晶子
遠藤 光恵 三木 正子
横田 亜季 志村 仁美
中央大 3-1 専修大
下田祥子 0(-10,-15)2 村松由希子○
○大場 範子 2(19,8)0 竹内めぐみ
○高尾和子 2(-17,16,8)1 村松由希子
大場 範子 小貫菜穂子
○石井陽子 2(17,19)0 小貫菜穂子
高尾和子 志村 栄子

決勝

青山学院大 3-0 中央大
○河合 雅世 2(12,16)0 石井陽子
○遠藤 光恵 2(21,20)0 大場 範子
○岡村 篤子 2(-20,8,18)1 高尾和子
丸木貴美子 大場 範子
岡村 篤子 高尾和子
横田 亜季 下田祥子
(青山学院大は2年連続6回目の優勝)
敢闘賞 河合雅世(青山学院大)

第58回全日本学生選手権大会(大阪市中央体育館) …外国人留学生が3種目(男子単・女子単・男子複)を制覇

◇男子シングルス

準々決勝

周 宏(埼玉大) 3(-15,6,14,13)1 徳村智彦(明大)
王 会元(龍谷大) 3(5,11,12)0 渡辺理貴(大正大)
田原直昌(専大) 3(17,-14,12,-19,18)2 中田幸信(明大)
黄 若東(大経法大) 3(-14,15,7,19)1 森本洋治(日大)

準決勝

周 宏(埼玉大) 3(-20,11,20,15)1 王 会元(龍谷大)
田原直昌(専大) 3(19,-18,7,-21,19)2 黄 若東(大経法大)

決勝

周 宏(埼玉大) 3(17,-17,-18,6,13)2 田原直昌(専大)
(周は初優勝)

◇男子ダブルス

準決勝

火 念祖(大経法大) 2(12,-10,16)1 王 会元(龍谷大)
黄 若東 有馬英純
橋本正浩(専大) 2(14,19)0 大川誠司(中大)
田原直昌 入山浩治

決勝

火 念祖(大経法大) 2(20,12)0 橋本正浩(専大)
黄 若東 田原直昌
(火・黄組は初優勝)

◇女子シングルス

準々決勝

韓 艶(龍谷大) 3(13,11,17)0 丸木貴美子(青学大)
大野知子(早大) 3(16,16,15)0 大場 範子(中大)
范 海燕(別府女短大) 3(9,13,5)0 横田 亜季(青学大)
長嶋正子(日体大) 3(17,14,16)0 野末 知穂(日大)

準決勝

韓 艶(龍谷大) 3(18,15,17)0 大野 知子(早大)
范 海燕(別府女短大) 3(16,15,-18,9)1 長嶋 正子(日体大)

決勝

韓 艶(龍谷大) 3(19,19,21)0 范 海燕(別府女短大)
(韓は初優勝)

◇女子ダブルス

準決勝

阪井 智子(富士短大) 2(19,19)0 高尾 和子(中大)
道広 友子(富士短大) 大場 範子(中大)
村松由希子(専大) 2(18,-19,22)1 河合 雅世(青学大)
小貫菜穂子 横田 亜季(青学大)

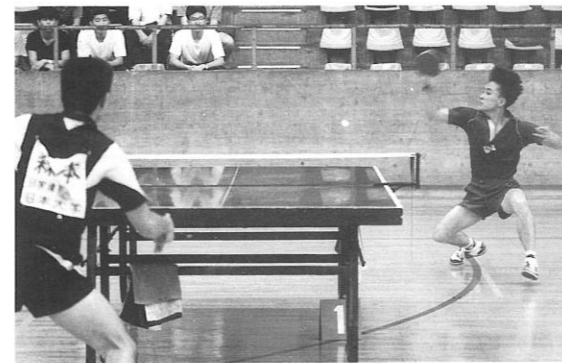
決勝

阪井 智子(富士短大) 2(16,-17,12)1 村松由希子(専大)
道広 友子 小貫菜穂子(専大)
(阪井・道広組は初優勝)



インカレ優勝の中央大・男子

インカレ優勝の青山学院大・女子



関東学生は1年生同士の決勝戦。
中田幸信(明大・向こう側)が森本洋治(日大)を破る



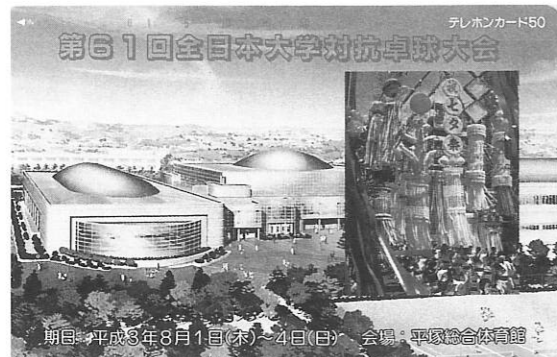
第41回世界選手権・幕張大会出場の大野知子(早大)。
大野は関東学生単優勝、全日本混合複2連覇と新人ながら大活躍



関東学生・全日学で女子複連覇の
阪井智子・道広友子組(富士短大)



新人戦優勝の森本洋治・高橋智英組(日大)。
森本は単も制し、単複2冠王



第61回全日本大学対抗卓球大会
記念テレホンカード
平塚総合体育館



春リーグで大正大が混戦を制し優勝。
劇上げされる佐藤行信部長(関東学連会長)



第41回世界選手権・幕張大会、日本代表
大学1年生コンビの森本・田中組(日大・埼玉大)